

独自の技術力で勝負する I C 設計ファブレス・ベンチャー

シリックス株式会社 奈良県奈良市

最近、大手メーカーなどの技術者 O B が、会社員時代の経験や人脈を生かして起業するケースが全国的に増えてきているが、奈良でもそうした動きが見られる。

東大寺と奈良女子大学にはさまれた静かな住宅街で、測光や測距などの光関係センサー I C の企画・設計・販売を手掛ける『シリックス株式会社』は、その独自の技術力や設計力の高さに定評のある I T ベンチャー企業だ。

同社代表取締役の三宅敏英さん（63 才）は、大学卒業後、シャープ株式会社に技術者として勤務し、主にカメラの光学系センサー I C の開発などに従事。その卓越した技術力で、業界では名が知られる存在であった。例えばフィルムコンパクトカメラの焦点調節に用いられた「アクティブオートフォーカス」というメカニズムに関しては、過半数の機種のカメラに、三宅さんがシャープ在籍中ないし独立後に開発した技術が使用されていたという。

シャープで順調にキャリアを重ねていった三宅さんだが、組織の中で昇進して技術開発の最前線の現場から離れてしまうよりも、技術者として自分の好きなことをやりたいという思いが日々大きくなっていった。そして 92 年、技術系の管理職をしていた 45 才の時に、「評価されているのは会社の名前なのか自分自身の実力なのかを確かめたい」と独立し、シリックスを設立した。

自らの技術力に加え、シャープ在籍時代に培った経験や人脈が役に立ち、事業は数年で軌道に乗り安定。シャープでの同僚 2 名も三宅さんの誘いに応じてシリックスに移籍し、三宅さんを含む技術者 3 名・技術補助パート 1 名・事務パート 1 名という現在の体制となった。

シリックスは、自社では生産設備を持たず I C の企画設計業務に特化した「ファブレス企業」であり、生産はすべて外部の工場に委託している。

高収益企業として知られる任天堂やアップルも自社内生産工場を持たないファブレス企業だが、こうした企業形態のメリットは、工場を持たないため初期投資や固定費を低く抑えられ、資金力に乏しい小規模なベンチャーでもアイデアや技術力

のみで身軽に事業を興せる点にある。

また、開発した技術は積極的に特許申請しており、同社と三宅さんが保有する特許は 10 件以上。こうした知的財産権が、同社の高い競争力の源泉でもある。

現在同社が主に提供している製品は大きく分けて、①『デジタル一眼レフカメラ用測光センサー』、②『光電スイッチ』（工業用機械の自動制御安全装置などに使用）、③『測距型センサー』（温水洗浄便座の光学式の着座センサーについては、同社の製品が国内シェアのほとんどを占める）、以上の 3 タイプがある。

これらを含めほとんどの I C が、商社などを通じてカスタマーのニーズを聞きそれに合わせて個別に設計するカスタム I C だが、そうした個社ニーズに対するきめ細かい対応の評判がとくに高いという。



I C 回路設計業務に特化した社内の様子（左）
I C の配線を拡大表示した設計図とシリコン基板（右）

奈良市内で起業した理由について三宅さんは、「静かな環境で駅にも近く、ファブレス企業としては不便なことは何もないから」と語る。

ファブレス企業は原材料や製品の流通にかかる地理的制約を受けることがあまりなく、大都市圏に近いながらも静かで自然に恵まれ、研究に集中できる奈良の環境は、そうしたビジネスモデルに向いているともいえる。同社のように「自分がおもしろいと思える仕事をしたい」（三宅さん）というマインドを持った意欲的なファブレス企業が、引き続き奈良から誕生することに期待したい。

（吉村 謙一）



シリックス 株式会社

〒630-8282 奈良県奈良市南半田西町 18-1
TEL : 0742-27-0478 FAX : 0742-22-5046
URL : <http://www.syrinx.jp/>